

TEKNOS



テクノイオン搭載 上部給水式 ハイブリッド加湿器 4L JHI-410

取扱説明書・保証書

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの説明書をお読みください。なお、お読みになられた後も大切に保管してください。

安全上のご注意……………1~2
 ご使用にあたってのお願い……………3~4
 各部のなまえとはたらき……………5
 使いかた……………6~10
 お手入れと保管……………11~12
 故障かな?と思ったら……………13
 アフターサービスについて……………14
 仕様……………14
 保証書……………裏表紙

愛情点検	長年ご使用の際も点検を!		
	このようなことはありませんか?	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コード、差込みプラグが異常に熱い ● 電源コードに深いキズや変形がある ● 焦げくさいにおいがする ● 運転中に異常な音や振動がする ● 製品本体に触れるとビリビリ電気を感じる ● その他異常や故障がある 	ご使用中 止
		故障や事故防止のため、スイッチを切り、差込みプラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。	

持込修理 本書は、保証期間内に本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無料修理規定	
1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理いたします。 2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご提示のうえ、お買い上げ販売店に依頼してください。 3. 保証期間中でも、次の場合には有料修理になります。 (イ) 使用上の誤りや、不当な修理・改造による故障及び損傷。 (ロ) お買い上げ後の取扱過誤、落下及び輸送上の故障又は損傷。 (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。 (ニ) 接続する他の機器の異常により生じる故障及び損傷。	(ホ) 一般家庭用以外(例えば業務使用、車輛・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。 (ヘ) 樹脂表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキの磨耗や打痕による損傷。 (ト) 本書のご提示がない場合。 (チ) 本書のご購入年月日・お客様名・販売店名欄の記入または押印がない場合。 4. 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan. 5. 本書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載のお客様ご相談センターにお問い合わせください。
 ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様ご相談センター

操作方法・接続方法・その他のお問い合わせ・アフターサービス

048-987-2161

埼玉県越谷市流通団地 3-3-18

受付時間：月～金曜日(9:00～12:00/13:00～17:00)

土曜、日曜、祝日はお休み

保証書 (お買い上げの日から1年間、無料修理をいたします。)			
品番 JHI-410			
お名前	様	お買い上げ日	年 月 日
ご住所 〒	〒	住所 〒	
☎ () -	取扱販売店	☎ () -	



SENJU CO.,LTD.
 株式会社 千住
www.teknos.co.jp

安全上のご注意





ご使用前に必ずお読みください

ご使用前に、必ずお読みください。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。







*ここに示した注意事項は、加湿器を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を『警告』と『注意』に区分しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



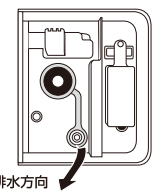




図記号の意味と例

	 記号は、「してはいけないこと」を意味しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)が描かれています。
	 記号は、「しなければならないこと」を意味しています。 図の中に具体的な指示内容(左図は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。










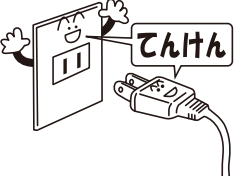
警告

 分解禁止	改造はしない。また、修理技術者以外の人、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。直ちに使用を中止し、当社お客様相談室にお問い合わせください。	 禁止	幼児の手の届く範囲で使用しない 感電・けがの原因になります。 
 禁止	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	 禁止	吹出口から噴霧される霧を吸入器のかわりにしない 健康を害する場合があります。
 使用禁止	電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。 	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災の原因になります。 
		 プラグを抜く	お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く 感電やけがの原因になります。

警告

 プラグを抜く	異常時(こげくさい臭いなど)は、 運転を停止して差し込みプラグを抜く 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。直ちに運転を停止して、当社お客様相談室にお問い合わせください。	 排水方向から	排水方向から排水する 排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。  排水時は必ず先に差し込みプラグを抜いてください。 <small>(排水のしかた 11ページ)</small>
 禁止	吹出口や本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない 感電やけがの原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない 感電の原因になります。 
 禁止	交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。		

注意

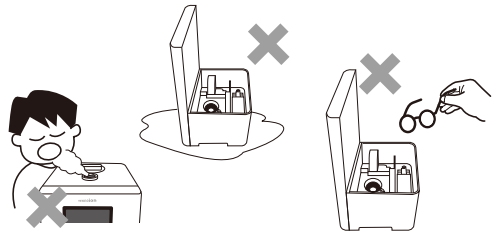
 プラグを持って抜く	差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く 感電やショートして発火することがあります。	 禁止	不安定な場所には置かない 水がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。
 プラグを抜く	使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	 禁止	使用中は本体を持ち運ばない 水がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。
 禁止	使用中や使用直後はお手入れをしない。 けがややけどの原因になります。	 水を入れ換える	水タンクの水は毎日新しい水道水に入れ換える 水槽部に残っている水も、ご使用のつど捨ててください。また、水槽部や霧化部は1週間に1~2回以上はお手入れして常に清潔な状態でお使いください。
 禁止	水タンクをはずして使用しない 水が飛び散って床をぬらしたり送風筒から水が入り故障の原因になります。	 禁止	電気製品やパソコン・精密機器などがあるところでは使用しない 湿気や白粉の影響により、機器の故障を引き起こす場合があります。
 プラグの点検	ときどきは電源コンセントやプラグの点検を 長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。◆思わぬ事故を防ぐために…●コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。●差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。●コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。 		

ご使用にあたってのお願い

●事故や故障などを防ぐために、必ずお守りください。

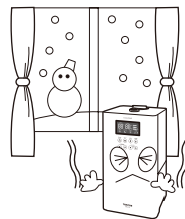
水タンクをはずして使用したり、加湿以外の目的では使用しない

床をぬらしたり、故障やけがなどの原因になります。



凍結に注意する

凍結のおそれがあるときはタンクと本体の水を捨ててください。凍結すると、故障の原因になります。



タンクを本体にセットした後や、本体に水が入っているときは、移動させたり持ち運んだりしない

水がこぼれて周囲を濡らしたり、機器の中に水が入って故障の原因になります。

水の入っていないときや本体を倒した状態では絶対に通電しない

霧化部(振動子)に悪影響を与え、故障の原因になります。

本体内のお手入れをこまめにおこなう

水槽部や霧化部に水あかなどが付着したまま使い続けると、誤動作したり、故障の原因になります。(**お手入れのしかた** 11ページ)

水を入れた水タンクを床やテーブルなどに直接置かない

水タンクの底に付着した水滴がこぼれたり、タンクキャップから水が漏れて周囲を濡らすことがあります。

加湿しすぎない

加湿しすぎると室内を濡らしたり、故障の原因になります。

設置場所のご注意

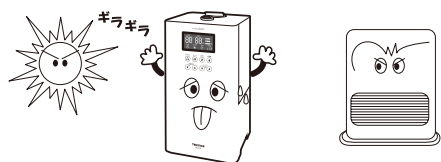
本機は高加湿力タイプの加湿器です。設置場所や設置方法によっては、加湿器周辺の家財などに悪影響を及ぼすことがあります。

以下の設置場所に関するご注意事項をよくお読みになり、正しくご使用ください。

次の場所では使用しない

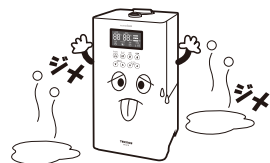
直射日光が当たる場所や暖房機の上または近く

変形・変色をしたり、誤動作することがあります。



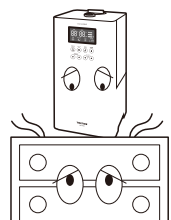
湿度の高いところ

故障及び水滴が落ちる原因になります。



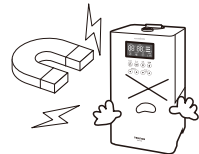
熱に弱い家具や床などの上

本体底面の熱により変色したり変形の原因になることがあります。



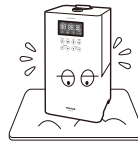
磁気の多いところ

誤動作の原因になります。



カーペットやふとんなどの上

本体底面の吸気口がふさがれると誤動作や故障の原因になります。



人がよく通るところ

ぶつかったり、電源コードに引っかかると、加湿器が倒れて水がこぼれたり、故障の原因になります。

高いところや傾いた場所

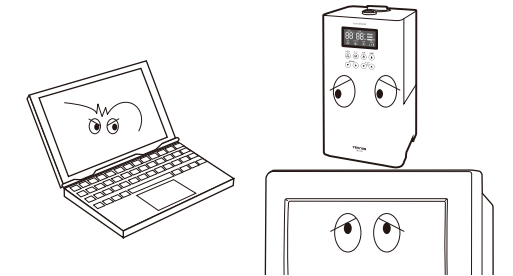
地震や、人が触れて落下したり、転倒する原因になります。傾いた場所に設置すると、水位検出装置が誤動作をおこし、運転の停止や水漏れの原因になります。

暖房機や電気製品の上

加湿器が倒れて水がこぼれたり、感電や故障の原因になります。

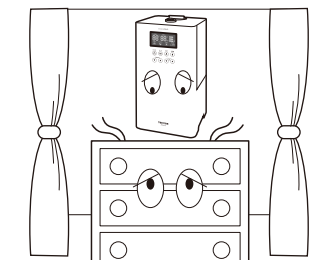
パソコン／携帯電話の近くや、テレビ／オーディオの上に加湿器を設置しない

水をこぼしたり霧が直接かかると、電化製品が濡れて、火災や感電、故障の原因になります。また、霧に含まれる白い粉*が電化製品内部に付着して故障の原因になる場合があります。電化製品のある部屋では、「吹き出しノズル」の向きを調節するなどして、加湿のしすぎに十分ご注意ください。



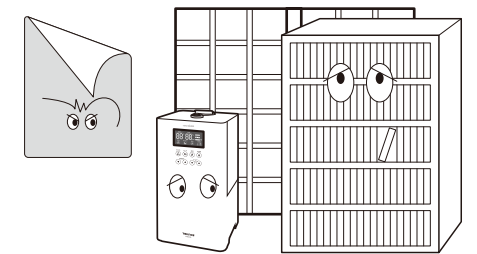
家具やカーテンの近くに加湿器を設置しない

霧が直接かかると家具やカーテンが濡れて、変質や変色、カビや異臭の原因になります。また、霧に含まれる白い粉*が、家具などの表面に付着する場合があります。通常は濡れたタオルなどでふき取れますが、家具の材質、表面処理によっては取れにくい場合があります。高級家具のある部屋では、「吹き出しノズル」の向きを調節するなどして、加湿のしすぎに十分ご注意ください。



ふすまや障子、書物、ポスターなどの紙類や壁などの近くに設置しない。

霧が直接かかると、変色やシミの原因になる場合があります。「吹き出しノズル」の向きを調節するなどして、霧が直接かからないように十分ご注意ください。



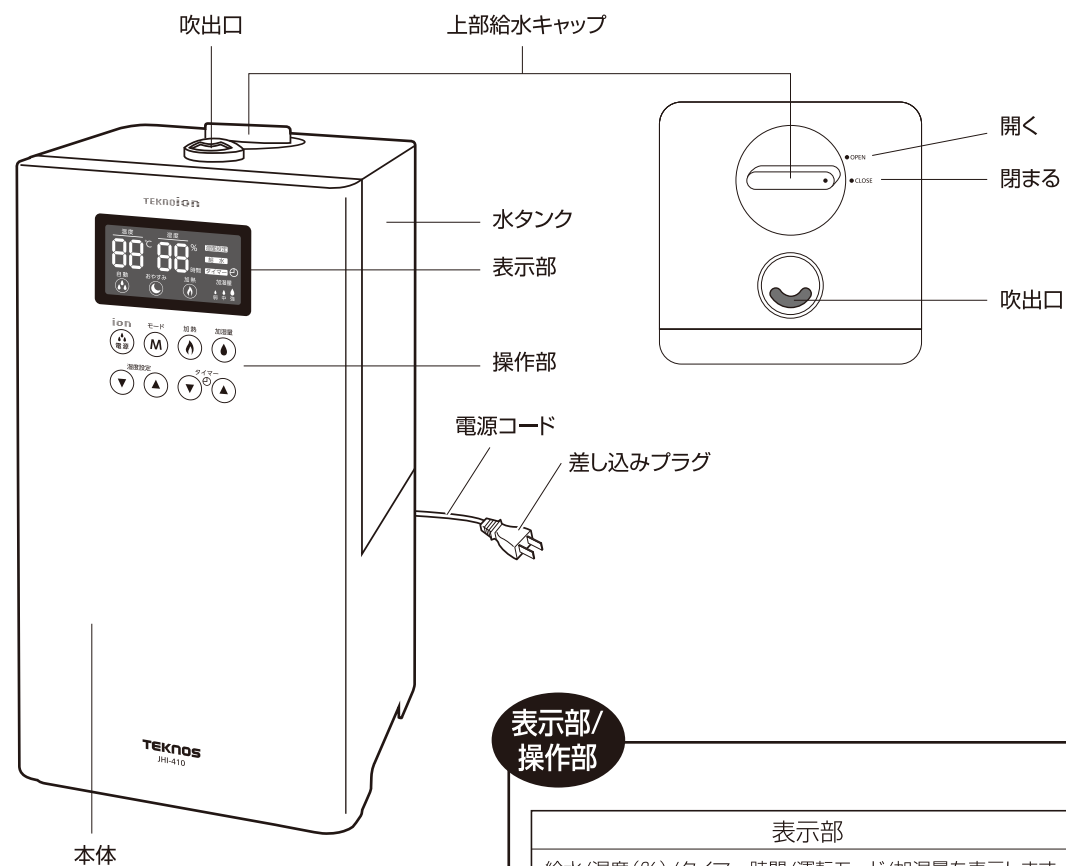
お知らせ

加湿器を床や畳の上に直接設置した場合、加湿量が多すぎると霧により床や畳が濡れる事があります。ご使用環境に合わせて加湿量を調節し、加湿のしすぎに十分ご注意ください。

*上手な使いかた(白い粉について)

本機は「超音波」+「ヒーター」のハイブリッド式を採用しております。省エネ・静音にすぐれた設計ですが、構造上、霧に含まれる「白い粉」が周辺に残ることがあります。この白い粉は、霧(水道水)の中の「カルシウム」や「マグネシウム」成分であり、人体には無害ですが家財などに大量に付着すると悪影響をおよぼすことがあります。白い粉が目立つときは、ご使用の環境にあわせて加湿の量や吹き出しノズルの向きを調節して上手にお使いください。

各部のなまえとはたらき

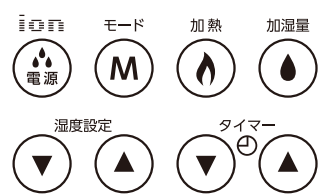


表示部/操作部

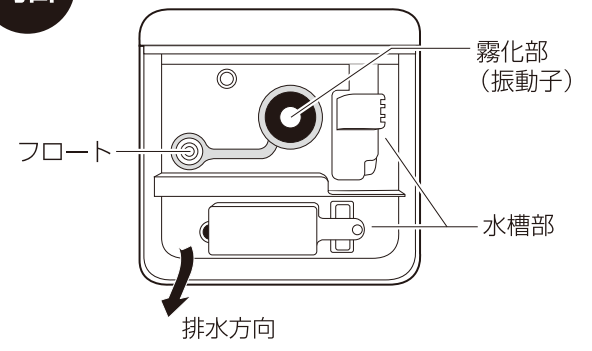
表示部
給水/湿度(%) / タイマー時間/運転モード/加湿量を表示します。
(8~9ページ)



操作部
タイマー設定/加湿量の調節をおこないます。
(9ページ)



内部

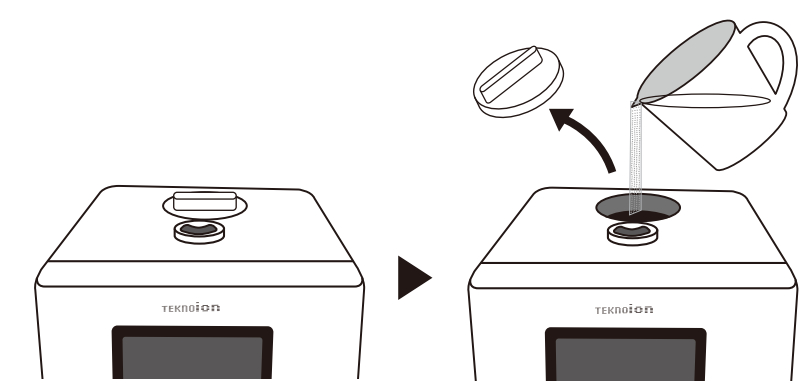


使いかた

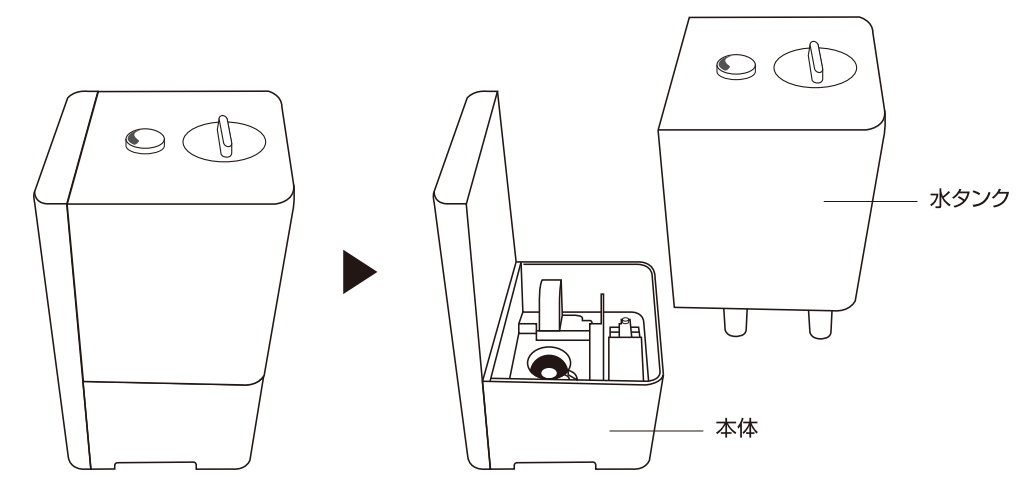
タンクに水を入れる

給水キャップをはずす、水タンクに水道水を入れる

- 本体や水タンクにアロマオイルや芳香剤、洗剤、化学薬品、温水(40℃以上)などを入れないでください。水タンクや内部の部品に悪影響を与え、故障の原因になる場合があります。
- 水道水以外の水を入れないでください。水の成分によっては内部に悪影響を与え、故障の原因になる場合があります。
- 吹き出しノズルに直接水を入れないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になる場合があります。
- 水タンクをぶついたり落としたりしないでください。水タンクに衝撃を与え、破損して水漏れの原因になります。万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、使用しないで弊社サービスセンター(14ページ)にご相談ください。
- 水タンクの水は毎日交換して、常に清潔にご使用ください。



水タンクのはずし方



使いかた

運転前に知っておいていただきたいこと

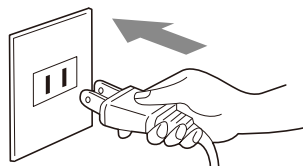
- 初めてご使用になるときや水を入れ替えたときは、水タンクに水を入れてから霧が出るまでに時間がかかります。
本体水槽内に水が行きわたるまでに時間がかかるためです。
この場合は、水タンクに水を入れてから5～10分程度まってから電源を入れてください。
- 水タンクに水を入れてから運転停止状態で長時間放置しないでください。
運転停止状態では水タンク内の圧力が上がり、水漏れの原因になることがあります。ご使用時以外は必ず水タンクと水槽内の水を全て抜いておいてください。(水槽内の排水のしかたは11ページを参照してください。)
- 運転を始めた直後は霧が安定しないことがあります。
これは水道水の水温や水質により振動子での霧化が安定するまで時間がかかるためです。10～15分運転することにより、徐々に霧の量が安定してきます。

お知らせ

ガスコンロなどの近くで加湿器を使用したとき、まれに炎が赤くなることがあります。これは霧に含まれる水道水の成分が炎に反応(炎色反応)するもので故障ではありません。気になるときは、加湿器の設置場所を変えてください。

運転のしかた

- 1 差し込みプラグをコンセント(交流100V)に差し込む



警告

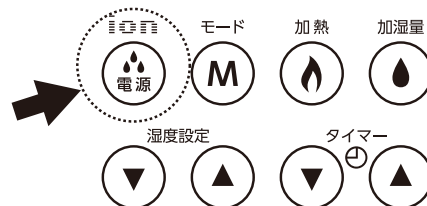
●電源コード・差し込みプラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

注意

●水のない時や本体を倒した状態では絶対に通電しないでください。
故障の原因になります。

- 2 **電源** 「電源」ボタンを押す

- 電源が入り自動運転を開始します。
(もう一度、電源ボタンを押すと、表示の明るさが半減します。)
- 表示部に「自動」と表示され、吹出口から霧が出ます。
- 自動運転開始後は約1分間、強運転にて強制加湿後、自動運転に切り替わります。
- 表示部に現在湿度を表示し、あたたか加湿状態の自動運転が開始されます。



お知らせ

- お部屋の湿度が最適湿度より高い場合、運転は停止します。
- 霧があたたかくなるまでに10～20分程度かかります。

自動運転について

本機は温度と湿度を検出するセンサーを内蔵しています。お部屋の温度(周囲の温度)にあわせ、最適な湿度になるように自動運転します。

周囲の温度	最適湿度
19℃以下	65%
20～21℃	60%
22～24℃	55%
25℃以上	50%

自動運転中の噴霧量について

検出した湿度と最適湿度の差に応じて噴霧量を自動的に調整して噴霧します。

お知らせ

初めてご使用になる場合など、給水してから運転を再開する場合は、表示部に「給水」と表示されますが、5～10分後に自動運転が開始されます。(水タンクから水槽に水が行きわたるまで5～10分かかります。)

自動運転中の噴霧量

最適湿度%と検出湿度%(現在の湿度)の差	噴霧量(運転モード)
11以上	強運転
10～4	中運転
3以下	弱運転
現在湿度の方が高い場合	休止

おやすみ運転のしかた

「電源」ボタンを押して自動運転中にモードボタンを押すとおやすみ運転モードに切り替わります。

- おやすみ運転中は「**おやすみ**」マークが表示されます。
- おやすみ運転中の最適湿度は50%に設定されています。
- おやすみ運転中は、加熱状態(「加熱」マーク表示)の運転を6時間行い、6時間後に運転を自動的に停止します。

おやすみ運転中の噴霧量

最適湿度(50%)と検出湿度%(現在の湿度)の差	噴霧量(運転モード)
16以上	強運転
15～4	中運転
3以下	弱運転
現在湿度の方が高い場合	休止

お知らせ

おやすみ運転時にタンク内の水がなくなると「給水」マークが表示され、運転を停止します。



お知らせ

表示パネルの湿度「数値%」は、内蔵の湿度検出センサー一部の湿度を表示しています。実際の室内の湿度とは異なります。

使いかた

おこのみ設定運転のしかた

「電源」ボタンを押して自動運転中に湿度設定ボタンを押すと、おこのみ設定になります。

- おこのみ設定運転モードでは加湿量の調節、加熱運転の「入」・「切」、最適湿度設定、タイマーの設定ができます。

加湿量の調節について

「加湿量」ボタンを押すごとに「強」→「中」→「弱」の順に加湿量を設定できます。(加湿量表示は本体前面のランプでも確認できます。)

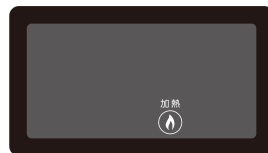


お知らせ

加湿量を設定するときに、室内湿度が加湿器の設定湿度より低い場合には、吹出口から霧は出ません。

加熱運転の「入」・「切」について

「加熱」ボタンを押すごとに加熱運転の「入」／「切」を設定できます。



お知らせ

加熱運転中は、内部のヒーターを使用してあたたかい霧を出します。

最適湿度設定について

ボタンの上下を押して、最適湿度の設定を上げ下げして設定できます。設定範囲は40～90%の間で5%間隔です。



タイマー設定について

ボタンの左右を押して、運転停止までの時間を設定できます。タイマー設定範囲は0(連続運転)～8時間の間で1時間間隔です。



運転を停止する

1

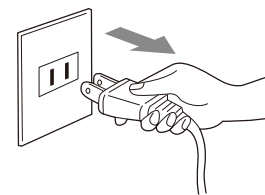


電源スイッチを押す

- 一度押すと表示の明るさが半減し、2度押すとメロディが流れ、表示パネルが消灯し、運転を停止します。

2

差し込みプラグをコンセントから抜く

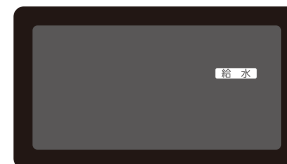


タンクの水がなくなったら

使用中にタンクの水がなくなると自動的に運転を停止し、給水お知らせ音が鳴り、表示パネルに「給水」と点灯表示してお知らせします。

- つづけてご使用になる場合は6ページの「タンクに水を入れる」の手順で水を補給してから、再度「電源」ボタンを押して電源を入れてください。

※水タンクに水を補給するときは、落としたり衝撃を加えないよう十分にご注意ください。水タンクを落としたり衝撃を加えると水タンクが破損して、水漏れの原因になります。



お願い

- ・水槽部や霧化部に水あかなどが付着したまま使用しつづけると、誤動作したり、故障の原因になります。水槽部や霧化部は、1週間に1～2回程度、お手入れをして常に清潔な状態でご使用ください。
- ・水タンクの水は毎日交換して常に清潔にご使用ください。

⚠ 注意

- ※本体や水タンクにアロマオイルや芳香剤、洗剤、化学薬品、温水(40℃以上)などを絶対に入れないでください。本体/水タンクや内部の部品に悪影響を与え、故障の原因になる場合があります。
- ※水道水以外の水を入れなでください。
- ※水の成分によっては本体や内部の部品に悪影響を与え、故障の原因になる場合があります。
- ※本体や吹出口に直接水を入れなでください。
- ※本体内部に水が入り故障の原因になる場合があります。
- ※水タンクを持ち上げるときは、タオルなどを敷いて床や家具などを濡らさないようご注意ください。
- ※水タンクを持ち上げると、水タンクの底面に付着した水がこぼれ、周囲を濡らす原因になります。
- ※水タンクをぶつけたり、落としたりしないでください。
- ※水タンクに衝撃を与えると破損して水漏れの原因になります。
- 万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、直ちに使用を中止し、当社お客様相談室(14ページ)にお問い合わせください。

ハイブリッド加湿機能とは

本体内蔵のヒーターのはたらきにより、タンクの水を加熱してから霧化部(振動子)に送り、あたたかい霧として吹き出します。ハイブリッド加湿機能をお使いいただくことで加湿効率をあげることができます。また、あたたかい霧を吹き出すので周囲の温度も下げません。

お知らせ

- ※あたたかい霧が吹き出すまで10～20分程度かかります。(ヒーターが加熱してから水槽内の水をあたたかくするまで時間がかかります。)
- ※本機は約40℃の霧を吹き出しますが、まわりの温度や湿度の状況によっては、霧をあたたかく感じにくいことがあります。

お手入れと保管

お手入れのしかた

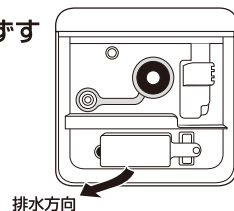
警告

- お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。
- お手入れの際は、必ずお湯が冷めてからおこなってください。やけどの原因になります。

排水のしかた

- 1 排水する前に、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。水タンクを本体からはずす
- 2 本体を図の方向にかたむけて排水する

排水時、送風筒から水が入らないように注意してください。



注意

- 排水は、必ずお湯が冷めてからおこなってください。
- 必ず排水方向から排水してください。排水方向を誤ると、水もれや火災・感電・ショートの原因になります。

本体

- 本体外側は、水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。



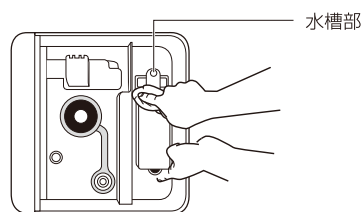
注意

- 本体の丸洗いはしないでください。感電や故障の原因になります。
- シンナー、ベンジン、ベンゾール、ミガキ粉、たわしなどを使用しないでください。変質・変色の原因になります。

水槽部・霧化部・フロートなど(1週間に1~2回程度)

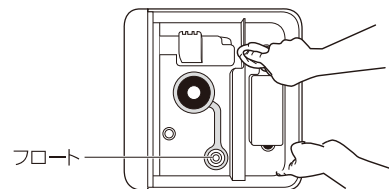
水槽内

- 水を浸した柔らかい布で水槽の内側に付着した汚れを拭き取ってください。
- 細部の汚れは、付属のブラシで落としたあと、柔らかい布で拭き取ってください。



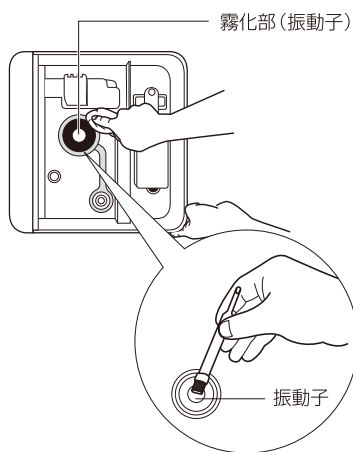
フロート

- フロートの回りにゴミなどが入っていないか確認し、ゴミなどがある時は取り除いてください。
- 細部の汚れは、付属のブラシで落としたあと、柔らかい布で拭き取ってください。



霧化部

- 振動子の表面に付着した汚れは、付属のブラシを軽くあてて落としたあと、柔らかい布で拭き取ってください。



お願い

- 振動子の表面を金属ブラシや金属ヘラ、研磨剤入りのタワシやミガキ粉などで絶対にこすらないでください。変形したり傷がつくと加湿量が弱くなったり、故障の原因になります。

水タンク・吹き出しノズル(給水時に)

- 1 水タンクの給水口より少量の水を入れ、給水キャップをしめて、給水口を上側にしてよく振り洗いしたあと下部のピンを押して排水する。
 - 2~3回繰り返してください。
 - 給水キャップを下側にしたり強く振りすぎると給水口より水が飛び出す場合があります。
- 2 吹き出しノズルの汚れを水洗いしたあと、柔らかい布で拭き取る。

水タンクに衝撃を与えますと破損して水漏れの原因になります。万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、直ちに使用を中止し、当社お客様相談室にお問い合わせください。

保管のしかた

- お手入れしたあと水をよくふき取り、水タンクや本体を日かげで、完全に乾かしてください。
- 水タンクや本体内に残り水がないか確認してください。
- 水タンクや本体を組み立ててポリ袋などで包み、もとの梱包ケースに入れて湿気の少ないところで保管してください。

注意

湿ったまま保管するとカビの発生や、故障の原因になります。よく乾かしてから保管してください。

故障かな?!と思ったら

ご使用中に異常が生じたときは、つぎの点をお調べください。
それでも調子が悪いときは、ただちに電源プラグを抜いて、当社お客様相談室にご連絡ください。

このようなとき	お調べいただくこと	処置のしかた	
霧が出ない	差し込みプラグはコンセントに確実に差し込まれていますか?	正しく差し込んでください。	7ページ
	給水の表示が点滅していませんか? (水タンクの水がなくなっていないですか?)	水タンクに給水してください。	6ページ
霧の出が悪い	弱運転になっていませんか? (表示パネルに「弱」と表示されていませんか?)	故障ではありません。 強運転する場合はおこのみ設定運転モードで「加湿量」ボタンを押して強運転に切り替えてください。	9ページ
	振動子の表面に水あかなどの汚れが付着していませんか?	振動子のお手入れをしてください。	11ページ
	お部屋の中が過加湿になっていませんか?	自動運転で設定温度以上になると運転を停止します。 この場合は故障ではありません。	
あたたかい霧にならない	おこのみ運転モードで「加熱運転」を「切」にしていませんか?	おこのみ運転モードで「加熱」ボタンを押して、加熱運転を「入」にしてください。	9ページ
	運転を開始した直後ではありませんか?	故障ではありません。 あたたかい霧が吹き出すまで10~20分程度かかります。(ヒーターが加熱してから水槽内の水をあたたかくするまで時間がかかります。)	9ページ
現在湿度表示が湿度計の値と大きく違う	窓際など外気の影響を受けやすい場所に設置していませんか?	外気の影響を受けにくい場所に設置してください。	3ページ
吹出口からの霧がにおう	古い水を使用していませんか?	【お手入れのしかた】にしたがって、お手入れをし、新しい水道水と入れ替えてください。	11ページ
	水槽部や霧化部に水あかやゴミがたまっていますか?		
「ポコポコ」と音がする	水タンクから本体に給水する音です。	故障ではありません。 そのままご使用ください。	
「ブーン」と音がする	送風ファンの回る音です。		

アフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、当社お客様相談センターへお申し付けください。

- 保証書(添付)
「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- 保証期間:お買い上げ日から本体1年間
ただし、消耗品および付属品は除きます。
- 補修用性能部品の保有期間 6年
この商品の補修用性能部品は、製造元が、製造打切り後6年保有しています。
注)補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理を依頼される時
「故障かな?!」の表に従ってご確認の後、直らないときは、まず安全のため電源プラグを抜いて、当社お客様相談センターへご連絡ください。
- 保証期間中は
保証書の規定に従って、または(場合によっては)商品の交換をさせていただきます。
- その他
・商品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
・アフターサービスについてご不明な点は、当社お客様相談センターにお問い合わせください。

仕様

型番	JHI-410	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	74W	適用床面積 (めやす)	木造和室 7畳 コンクリート洋室 11畳
加湿量	約350mL/h	外形寸法	幅180×奥行180×高さ349mm
タンク容量	約4L	電源コードの長さ	1.8m
最大加湿時間 (最大運転時)	約11時間	質量	約2.75kg

※加湿量・連続加湿時間は、室温20℃・タンク満水の場合です。